



学校だより **きたざき**

No.8 平成27年11月2日

福岡市立北崎小学校

校長 久光 謙治



鍛錬遠足に行ってきました

今年から、体力づくりの取り組みの一つとして、鍛錬遠足を行いました。低学年（1～3年生）は灘山か柑子岳、4、6年は、福吉にある十坊（とんぼ）山に行きました。5年生は自然教室で井原山に登っているのので、10月は参加していません。

まずは、10月22日に行われた4、6年の十坊山。バスに乗って、JRに乗り換え、福吉の駅に下りると、リュックサックを背負った保育園の園児達に会いました。これから同じコースで十坊山に登るそうです。こちらは、4年生と6年生。負けるわけにはいきません。みんなにプレッシャーがかかりました。「疲れた」「もう歩けん」なんて絶対に言えません。一人も脱落することなく、十坊山の頂上へ。保育園児達もちょっと遅れて登ってきました。頂上では唐津方面の景色がとても素晴らしかったです。



次に、10月26日に行われた1～3年生の灘山、柑子岳登山です。学年の枠を越えて、自分で行きたい方を選ばせました。学校からは、それぞれ3名の教師が引率につき、地域の方も7名参加して頂きました。保育園の時に登った経験はあるものの、小学校から歩いて登るのは初めてです。どちらの山も学校から30～40分かかります。ようやく登山口について、登り始めました。私（校長）は、灘山に登ったのですが、展望所について見た玄界島や西浦漁港の景色は素晴らしかったです。地域の方も子ども達と一緒に登って気分爽快と喜んでおられました。

最後に、鍛錬遠足の意義をしっかりと考えて行動したなぎさルームの取り組みを紹介します。なぎさルームでは、十坊山に登るということで夏休みに下見に行きました。そして、みんなと同じルートで登れるのではないかと判断し、駅から登山口までの道のりだけ車を利用して行くことにしました。そして、10月に入ってから、担任の田原先生と一緒に灘山、柑子岳を登り、トレーニングをしました。このような計画的な取り組みの成果として、ちゃんと遅れることなく登山ができました。

小中連携コーナー

10月23日(金)は合唱コンクール、27日(火)は意見発表会と、中学校の行事を6年生が参観する機会がありました。(合唱コンは5年生も参観しました) 来年、中学生になったら自分もあのような姿を見せなければいけないのだというようなプレッシャーを感じたのではないのでしょうか。



町別人権学習会に参加してみて

10月は、各町内で町別人権学習会が行われました。学校職員も各町内に分担して、小学校の人権教育の取り組みなどを説明して回りました。どこの町内も参加者が多くていいなと思いました。特に、児童・生徒の参加が多く、家族ぐるみで研修していく主体的な姿に感心しました。町によっては、中学生がグループ討議の進行役や報告者となって活躍しています。小学生は、もう少し話の聞き方が上手にならないといけないなと思いました。それでも、人権のことについて家族で話題にできるのはとても良いことだと思います。学習会で見たビデオなどについて感想を出し合うお茶の間であって欲しいと思います。

ふるさと手作り教室

10月30日(金)に、ふるさと手作り教室がありました。地域から多くの方に参加して頂いて、子ども達への指導などをして頂きました。1年生は「昔の遊び」お手玉や剣玉など一緒に遊びました。2年生は「かっぱん作り」竹を切ったり穴をあけたりして作りました。3年生は「なわ作り」縄のない方が難しい。4年生は「竹とんぼ」高く飛ばすためにはどこを工夫すればいいかコツをつかみました。5年生は「雑巾作り」手縫いの仕方など教わりました。6年生は「みそ汁作り」カワハギのみそ汁をつくって、参加された方々に振る舞いました。参加して頂いた地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

11月の主な行事予定

- 2日(月) 全校朝会、弁当の日、委員会活動
- 3日(火) 校区文化祭
- 8日(日) 福岡マラソン
- 12日(木) 就学時健康診断
- 14日(土) 学習発表会、親子ふれあい交流会
- 16日(月) 14日(土)の振替休日
- 20日(金) クラブ活動
- 24日(火) 音楽鑑賞会
- 28日(土) 秋月小学校とのPTA交流会



【徒然なるままに】

▼「感じたら動く」

先日マリンメッセで行われた九P大会に参加しました。

▼その中で、女優の藤原紀香さんの講演がありました。藤原さんは、アフガニスタンやカンボジアといった戦争がおきている地域を巡り、そこに住む子ども達の笑顔をフィルムに残し、教育と平和の大切さを説いて回っています。

▼その中で、自分が神戸で震災にあっただけから、夢を追いかける事の大切さと何か世の中に役立てる自分を見つけたいと語っていました。

▼講演の他にも、市内の中学生の報告がありました。彼らは、東日本震災で被災した現場を訪れ、地域の人々と交流してきました。初めに書いた言葉は、そのプレゼンに使われていた言葉です。

▼感じてなかなか動けない自分がいま。何かしなければと焦りながらも、現実の世界に埋没してしまっている。反省の毎日です。
あなたはどうですか。

